



精神伝統は、まるで「北極星」のように私たちの進路を示し続けているようです。

方をするにありません。私たちは、人生を自分の力だけで生きていくように考えてしまいがちですが、他方で自分の力を超えた働きの影響を受けながら生きています。モラロジーではその働きを、すべてのものを育む力として捉えています。

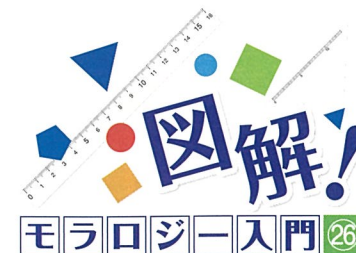
この力を生かすには、日ごろから社会に暮らす人々の幸せに心を向ける努力を重ねることです。人のため、社会のために生きることは、直接的にも間接的にも、自分の喜びにつながることを精神伝統は教えてくれます。社会に開かれた心づかいの習慣が身につくと、次第に自分中心の世界から離れて、多くの人と調和して生きる人生を歩んでいくことができます。

このように考えてくると、精神伝統はまるで「北極星」のように、私たちの進路を示し続けているようです。判断に迷う時は、夜空を見上げて、彼らの教えに目を向けることで、自信をもって次の一步を踏み出せるのではないのでしょうか。

今月の範囲

第二部 実践編
第八章 伝統報恩
二、(三) 日常生活における各伝統への報恩

モラロジー研究所の概論講座で使用される改訂『テキスト モラロジー概論』について、今月は第八章の二、(三)の「日常生活における各伝統への報恩」を図解します。



モラロジーを楽しく、平易に学びたい——。そんな要望にお応えして、この連載では改訂『テキスト モラロジー概論』の内容を図で解説します。ご自身の学習に、あるいは勉強会の資料としてご活用ください。

構成=「れいろう」編集部

道徳実行の道しるべ

—— 精神伝統の役割とはたらき

きのしたじょうこう
研究センター教育研究室 木下城康

道徳を学んで、自分ではよいことをしたくても、実際には何を行えばよいかわからない場面は多いものです。なぜなら、何をするのがよいかは、それぞれの場面で異なってくるからです。その場にいる私たち自身が答えを考えるほかはありません。

では、どのような標準で答えを見いだしていけばよいのでしょうか。

古くから受け継がれている教説や教訓などの歴史を紐解く時、「聖人」と呼ばれる人々とその系列に辿りつきます。モラロジーではこれらの人々を「精神伝統」と呼んでいます。

精神伝統は聖人として、また聖人の教えを受け継ぎ、生き方の指針を後世に示しました。そこから、道徳実行の標準や指針については学ぶことができます。

精神伝統の教えに導かれて、人類は世界全体や未来の世代までを見通した道徳を考えられるようになってきました。その教えと生き方から学ぶことができる標準の核心は、自分中心の利己的な本能を離れ、社会に開かれた生き